

近隣自治体における近年の庁舎整備の事例（総務課作成）

自治体名	備前市	坂出市	(参考)玉野市
自治体面積	258.14k㎡	92.49k㎡	103.58k㎡
人口・職員数 (※1)	・人口：34,265名 (R2.1.1住基) 出典：令和2年版岡山県市町村ハンドブック ・職員数：695名 (H31.4.1時点)	・人口：52,288名 (R2.10月住基) 出典：坂出市HPより ・職員数：806名 (H31.4.1時点)	・人口58,834 ・職員746
整備時期	2018年6月着工→2020年2月完成	2018年9月着工→2020年4月完成 (11月に全ての工事終了)	1966年2月
位置	備前市東片上126 (現庁舎の東側に建設。現庁舎は駐車場に)	坂出市室町2-3-5 (現庁舎敷地内。空きスペースに建設)	玉野市宇野1-27-1
規模	・敷地面積：6,171㎡ ・建築面積：1,232㎡ ・延床面積：6,642㎡ ・階数：地上6階、塔屋1階	・敷地面積：7,756.35㎡ ・建築面積：1,759.73㎡ (+倉庫棟299.54㎡) ・延床面積：6,133.30㎡ (+倉庫棟299.54㎡) ・階数：4階	敷地：11,570.28㎡ 建築：1,854.62㎡ 延床：5,440.16㎡ 階数：4階
構造	鉄骨耐震構造	鉄筋コンクリート造 (免震構造・一部PRC造)	鉄筋コンクリート造
駐車場	・駐車場：95台 (思いやり駐車場3台含む。)	・駐車場：104台 (車いす使用者用4台含む。)	75 (車いす2台)
新庁舎建設の理由	老朽化、耐震上の問題、行政窓口の分散	建物全体、電気設備、空調、給排水設備等の老朽化	—
事業費	42億1,500万円 (山陽新聞デジタル2020.02.15より)	約39億円 (四国新聞2020.12.16より)	—
財源	合併特例債	基金でほとんど対応。一部起債 (R3.1.15聞き取り)	—
事業手法	設計者の選定：公募型プロポーザル	設計者の選定：公募型プロポーザル ; 直接建設方式	—
特徴など	①機能性と経済性を両立した新庁舎 (ワンストップサービス、プライバシーの配慮等) ②人や環境、すべてにやさしい新庁舎 (わかりやすいサイン、災害復旧への備え、情報管理システムの構築等) ③まちづくりをリードする新庁舎 (周辺環境との調査、憩いや賑わいの場の創出等)	①安全と安心の確保 (免震構造、1階負荷レベルのかさ上げ、防潮板の設置、駐車場は多機能防災広場としても利用できる等) ②市民サービスの機能の充実 (行政と市民の共働の場となる市民ロビー、ユニバーサル庁舎等) ③経済性と環境への配慮 (ライフサイクルコストの縮減、維持管理がしやすく永く使い続けられる庁舎等)	—
設計・施工者	山川設計・丸川建築設計共同企業体	戸田・兼子特定建設工事共同企業体	—
参考	備前市施設建設・再編課ホームページ https://www.city.bizen.okayama.jp/soshiki/8/	坂出市総務課ホームページ (庁舎の建替えについて) https://www.city.sakaide.lg.jp/site/simnhousha/	—

(※1)職員数は全体数 (本庁勤務職員以外も含む。)